

令和7年度事業報告書

西日本・カンボジア友好協会

1.理事会・常任理事会・総会ほか

開催日		行 事	内 容	会 場
4月	9日 (水)	第96回常任理事会	<ul style="list-style-type: none"> ・会員入退会状況報告 ・八頭司理事 理事から常任理事への就任の報告 ・理事会総会開催 講演者について ・奨学生申込状況ならびに今後の予定 ・視察団派遣時期ならびに視察場所の選定 ・各委員会から協議事項 	福岡市舞鶴庁舎
5月	29日 (木)	理事会総会	<ul style="list-style-type: none"> 第1号議案 令和6年度事業報告及び決算報告について 第2号議案 令和7年度事業計画(案)及び収支予算(案)について 第3号議案 役員就任(案)について 	リファレンス 大博多ビル 1109会議室
8月	20日 (水)	第97回常任理事会	<ul style="list-style-type: none"> ・会員入退会状況報告 ・カンボジア視察について ・スピーチコンテスト優勝者 来福について ・各委員会からの協議・報告事項 	福岡市舞鶴庁舎
10月	8日 (木)	第98回常任理事会	<ul style="list-style-type: none"> ・会員入退会状況報告 ・カンボジア視察について ・スピーチコンテスト優勝者 来福について ・各委員会からの協議・報告事項 	福岡市舞鶴庁舎
12月	11日 (木)	拡大理事会 (視察報告会含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・協会会員数報告 ・奨学金授与報告 ・スピーチコンテスト優勝者 来福報告 	竹乃屋 空港店
2月	4日 (水)	第99回常任理事会	<ul style="list-style-type: none"> ・会員入退会状況報告 ・王立プノンペン大学奨学金授与に関する報告 ・令和8年度 理事会総会について ・2025年 CMC スタディーツアー報告 ・各委員会からの協議・報告事項 	福岡市舞鶴庁舎

2.その他活動

<社会貢献委員会>

■王立プノンペン大学奨学金授与

【実施日程】2025年11月5日(水)～9日(日)

(本年度カンボジア視察)

【授与式日時】11月7日(金) 14:00～

【場所】王立プノンペン大学 日本語学科会議室 (2階)

【授与対象】奨学生6名(うち4名出席、2名欠席)

「本年度の奨学金授与式は、11月7日14時よりプノンペン大学にて執り行われた。当日は、日本へ留学中の学生や現地で就職し多忙を極める学生など、当協会の支援を受けた学生たちが着実に社会へと羽ばたいている実態を確認することができた。レスミー先生は急用のため欠席されたが、代理のセン・ヘアン先生立ち会いのもと、厳かな雰囲気の中で直接奨学金(2,400ドル)の授与を行い、学生たちの感謝の言葉を受け取った。



▲感謝状

■令和7年度スピーチコンテスト優勝者来福

【経緯と目的】

平成25年(設立年)より5年間、福岡大学名誉教授 横山正幸先生が代表を務める「カンボジアの子ども達の教育を支援する会」の活動の一部を、西日本・カンボジア友好協会前会長 八頭司 正典氏の御寄附によって支援していた。(現在は八頭司前会長の寄付によって支援されていた一部の活動のみを西日本・カンボジア友好協会にて継続して支援する事となった。)支援の一環として王立プノンペン大学が行っている日本語弁論大会の優勝者に福岡へ来日してもらい、企業見学等を通じて日本の経済・文化を肌で感じてもらう。

【来福者】ソム チェンダ氏 (2025年優勝者)

現在東京の実践女子大学に留学中に来福。

【期間】2025年11月27日(木)～11月29日(土)

【活動内容】

■11/27(木)

★お昼前：空路にて福岡に到着

★ 午後：会社見学(竹乃屋 JRJP店、博多デイトス店)

株式会社タケノ 取締役営業人事本部長 濱田様より竹乃屋の歴史



についてお話しいただきました。

また、お店を構えるための立地条件、買う人がどういう人なのか、どのようなものを提供するか、どの様な人が働くのかといったビジネスを始めるうえでのノウハウを丁寧に細かくご説明いただいた。

■ 11/28(金)

★西日本・カンボジア友好協会会員との昼食会

場所：竹乃屋 福岡空港店

参加者：眞鍋会長(株式会社 博運社)

岩本副会長(福岡外語専門学校)

曾根崎専務 (有限会社博多の森不動産)

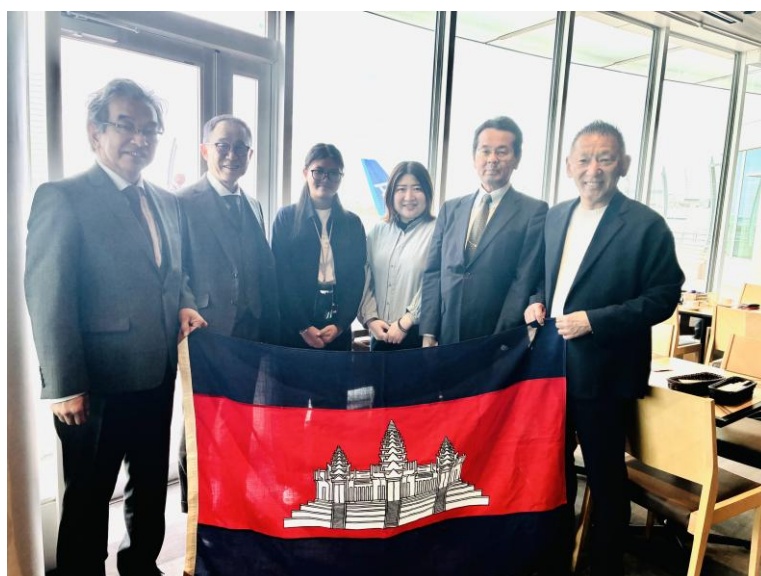
山本様(株式会社 北九州ウォーターサービス)

事務局 福松



会の冒頭に、チエンダ氏の日本語弁論大会の実際の文章を参加者に共有し、その内容について懇談を行った。

また、チエンダ氏の将来の夢や、カンボジアの情勢、新空港、留学先で学んでいることなど、たくさん話題で懇親を深めた。



左から 曾根崎専務、眞鍋会長、チエンダ氏、事務局福松、山本氏、岩本副会長

■以下日本語弁論大会の実際の内容

名前：ソム チェンダ

失敗から学んだこと

みなさん、子どもの時に夢がありましたか？きっと、みんなそれぞれ夢があったと思います。私は、子どもの時、たくさん夢がありました。たとえば、医者になりたかったり、銀行員になりたかったり、それに宇宙飛行士にもなりたかったです。子どもの私は、大人になれば、何でもできると思っています。たくさん勉強して、仕事をして、お金を稼いで、立派な大人になれると信じていました。

でも、16歳になったとき、それらの夢がなくなりました。自分にはその夢をかなえる力がない気がついたからです。それから、「高校を卒業したら、どうすればいいだろう？」とずっと考えていました。高校卒業試験の結果が出たあと、教育省から日本語学科の4年間の奨学金をもらうことになりました。でも、それだけでは十分ではないと思って、すぐにその奨学金を受け取らず、別の専攻を探そうと思いました。その時、いい大学を探して、ほかの奨学金を申し込みました。でも、社会の経験が少なく、話すのが苦手だったので、たくさんインタビューで失敗しました。どんなにがんばっても、何でもできないと思いました。

でも、諦めたいと思っても、人生はここに終わるわけではないと気づきました。できることは前に進んで、自分の人生を後悔のないように導く新しい道を見つけることだけです。

その時、私は教育省からの日本語の奨学金を受けることにしました。それを決めてよかったと思います。まだ1年しかたっていませんが、たくさんのかんことをしました。たとえば、日本人の学生と交流に参加したり、日本の文化イベントでボランティアをしたりしました。それだけでなく、ボランティアの機会をまた探し始めて、最終的に若者が自分の可能性を見つけ、社会に貢献するのをたすける団体のメンバーになりました。

私がした選択や決めた道は、今の私を作りました。夢の学校で勉強することができませんでしたが、今は一番好きな日本語を勉強しています。私の学科では、すばらしい人たちに会い、たくさん思い出を作りました。奨学金の面接での失敗は、私に大切なことを教えてくれました。そして、新しいチャンスもくれました。

今、私は新しい夢と目標があります。それをかなえるために、これからも頑張ります。失敗は終わりで環なく、成長するために必要だとわかりました。「まちがった電車に乗ったら、新しい電車に乗りかえればいい」とおもいます。みなさん、失敗をこわがらないでください。失敗も成功も、私たちの人生に大切な経験になります。

★福岡観光～太宰府天満宮～

福岡の文化体験として、太宰府天満宮を訪れた。チェンダ氏は神社にとっても興味を持っているようで、今回の太宰府観光を楽しみにしていたとのことだった。本殿までの参道にとっても興味を示しており、ゆっくりと時間をかけて観察していた。本殿では、しっかりとお祈りをしたり、おみくじを引いたり、お守りを購入したりと、日本の文化を存分に堪能している様子だった。

■11/29(土)

★お昼すぎの便で留学先の東京に戻る・・・+

【所感】

・チェンダ氏本人は、大学に入学してから日本語を学んでいると言っていたが、私たちが話していることをほとんど理解しているようだった。日本語に加え、幼少期から英語を学んでいるということで、大学で英語のチューターをしていると話していた。日本人との言語の取得に違いがあることが良く分かった。

・会社見学で竹乃屋の店舗を訪問させていただいた。将来はカンボジアでパン屋を開店したいと考えている彼女にとって、こういうニーズがあって、どのような場所に出店するかなど、具体的なノウハウを詳細に説明いただいたことはとても有意義な時間だったと推測する。本人もとても真剣に話を聞き、疑問に思っていることは質問している姿を見ることができた。

・文化体験として太宰府天満宮を訪れたが、本殿のみならず、参道にある一つひとつのお店に興味を持ちながら観察している様子がとても印象的だった。日本の文化を理解しようとする姿勢に感銘を受けた。

■絆プロジェクト

【実施日】2026年2月8日(日)

事業名：カンボジア・メコン大学「キズナプロジェクト」へのスポンサー協力

内容：現地の教育支援および交流促進を目的としたイベントへの協賛。



<広報委員会>

■ホームページへの協会活動の進捗記事アップおよび会員へのメール案内

2025年7月13日(日) 令和6年度事業報告・令和7年度事業計画等についての報告